

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集1

第18回広島国際アニメーションフェスティバルコンペティション作品決定！
国際アニメーションフィルム協会(ASIFA)・米国アカデミー賞公認

▲ Swing (スウィング)
ロシア
Lyudmila Skotnikova ©Ltd "Studio "Ural-Cinema"



▲ Only the Seas Live Forever (オンリー ザ シーズ リブ フォアエバー)
中華人民共和国、アメリカ
David Ehrlich



▲ The Good Wolf (優しいオオカミ)
ベラルーシ
Natalia Darvina ©National Film Studio Belarusfilm



▲ First Light (ファースト ライト)
イタリア、日本
Sergio Pastore ©Sergio Pastore

世界も注目するアニメーション映画祭 新型コロナ禍の下、オンラインによる審査を実施

広島国際アニメーションフェスティバルは、1985年の第1回大会以来、2年ごとに開催され、世界四大アニメーション映画祭の一つとして国内外のファンに親しまれてきました。

このフェスティバルは、国境や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーション芸術を通じ、人類が平和に生きることを追求するASIFA(国際アニメーションフィルム協会)の心と、世界の恒久平和を願うヒロシマの心が一つになって行く、「愛と平和」を希求する祭典です。国内外から参加する多くの人々が被爆の実相に触れ、平和への思いを共有し広げる貴重な機会になっています。また、世界の著名なアニメーション作家が一堂に会し、作家と参加者が触れ合いながら、優れた作品を鑑賞することにより、世界のアニメーション芸術の普及・発展と映像文化の振興・映画産業の発展に寄与しています。

フェスティバル実行委員会と広島市、(公財)広島市文化財団は、第18回大会の開催に向け準備を進めてきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の終息が見通せない中、国内外から多くの来場者や大会関係者の参加を得て実施する従来の開催方式では、感染の危険性を完全に払拭できないとの判断から、フェスティバルの中核をなすコンペティションの審査を審査員がオンライン会議で行い、コンペティション作品等の上映、アニメーション教育機関のブース出展及びワークショップ等のサブイベントは中止するなど、開催方式を変更・縮小し実施することになりました。



アニメーションの灯をつなぐ、応募作品2,339点から選りすぐりの59作品 8月下旬に受賞作品を発表予定！

第18回大会には世界84の国と地域から2,339作品の応募がありました。選考審査は、5月に選考委員長の大西宏志氏と海外の選考委員から委任を受けた代理選考委員の佐藤皇太郎氏、長尾真紀子氏、木下小夜子氏によりオンライン会議で行われ、コンペティションの対象となる59作品が選出されました。コンペティションの審査は、8月20日(木)～24日(月)に国際審査委員によりオンライン会議で行われ、コンペティション作品の中から、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞、国際審査員特別賞、優秀賞が決定され、8月下旬に発表される予定です。詳細は大会公式サイトで随時更新されます。

大会公式サイト <https://hiroanim.org/>

<国際選考委員>

- 大西宏志 Hiroshi Onishi【国際選考委員長】
映像作家、京都芸術大学(旧名称 京都造形芸術大学)情報デザイン学科教授(日本)
- スヴェトラナ フィリップヴァ Svetlana Filippova
アニメーションフィルム監督(ロシア)
- ズビグニェフ チャブラ Zbigniew Czapla
監督、脚本家、アニメーター、画家、グラフィックデザイナー(ポーランド)
- リントムリンソン Lynn Tomlinson
アニメーター、監督、タウソン大学電子メディア・映画学部助教授(アメリカ)
- ステファン ストラティル Stefan Stratil
アニメーション作家、ウェブスターウィーン私立大学／
ウェブスター大学セントルイス校(アメリカ)講師(オーストリア)



▲第18回大会公式ポスター
Artwork and Design by : Naoyuki Tsuji

<第18回 広島国際アニメーションフェスティバル 主催団体等>

コンペティション審査期間:2020年8月20日(木)～24日(月)

主催:広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、公益財団法人広島市文化財団

共催:国際アニメーションフィルム協会日本支部(ASIFA-JAPAN)

公認:国際アニメーションフィルム協会(ASIFA/Association Internationale du Film d'Animation)

協力:日本アニメーション協会

補助:公益財団法人JKA、平成31年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



◆Pick Up! 国際アニメーション映画祭の動向

新型コロナウイルス感染症は、様々なイベント実施に影響を及ぼしています。世界の国際アニメーション映画祭にも大きな影響があり、今年はオンラインを活用した運営となっています。世界各地から人が集う大きなイベントはコロナ前とは全く異なる運営の選択を迫られ、主催者の苦労は察するに余りあります。新しい映画祭の形が生まれ出ることを望むばかりです。

コラム ひとりひとりの力を集めて！ みんなで守る映画文化の灯

映画館という場集って泣き笑い楽しむ「体験」としての映画、それが新型コロナウイルスによって奪われた。人が集うこと自体を避けなければならない状況になって、当たり前と思っていた体験がどんなに大切なものだったか思い知らされた。

緊急事態宣言で映画館も休館を余儀なくされた。収入が途絶えることの影響は規模の大小を問わないが、小さな、特に地方の映画文化を支えるミニシアターには極めて大きい。閉館の危機を救うため、深田晃司・濱口竜介両監督が立ち上げたクラウドファンディング「未来へつなごう!! 多様な映画文化を育んできた全国のミニシアターをみんなで応援 ミニシアター・エイド(Mini-Theater AID)基金」は、4月13日のスタートからわずか3日で目標の1億円を達成、1ヶ月で3億円を超える支援を集めた。このスピードと寄せられる想いの熱さは、『この世界の片隅に』制作支援クラウドファンディングを思い起こさせる。映画を愛するひとりひとりの力は小さくとも、その行動が集まると大きな力になっていく。



写真提供: きしこりんさん

ミニシアター・エイド基金支援対象でもある広島市の八丁座・サロンシネマは、5月29日より営業再開した。八丁座ロビーには「再会」「感謝」の文字が踊り、『この世界の片隅に』主人公すずさんが「お帰りなさい」とお出迎え！ 再開は嬉しい。ただ、席数を減らし感染防止対策を行っての上映はこれまで通りとはいかない。これまでとは異なる考えかた暮らしがたが必要とされるなか、映画を観ることのかけがえのなさを胸に、私たち観客ひとりひとりが自分にできる支援を続けたい。それが映画文化の灯を守る。(文・松浦 妙子)

特集2

広島ゆかりのアニメーション上映会 アニメーションを広島の新しい都市文化のひとつに



▲ かつ飛ばせ! ドリーマーズ ~カープ誕生物語~



▲ ピカドン © スタジオロータス



▲ ヒロシマに一番電車が走った ©2005 NHK



▲ クロがいた夏

広島とアニメーションの関わりの再発見 アニメーションで見つめ直す広島

NPO法人広島アニメーションシティは、広島市映像文化ライブラリーと共催し、広島ゆかりのアニメーション上映会を開催します。

今年で3年連続の開催となる本上映会は、広島ゆかりのアニメーション作品を紹介しながら、広島とアニメーションの関わりを再発見し、アニメーションに描かれた広島を見つめ直して、アニメーションを広島の新しい都市文化の一つとして捉える機会とすることを目指します。

今回の上映会では、1970年代後半から1980年代、そして1990年代に製作された広島ゆかりのアニメーション作品の中から平和をテーマにした4本の作品を選びました。広島とアニメーションを結びつける記念碑的作品と言える『ピカドン』をはじめ、戦後広島復興期に広島カープが誕生した時期を子ども達の視点から描く『かつ飛ばせ! ドリーマーズ ~カープ誕生物語~』。さらに、被爆からわずか3日後に再開された路面電車を運転する少女を描いた『ヒロシマに一番電車が走った』、漫画家の中沢啓治氏原作の『クロがいた夏』を上映します。

<開催概要>

【期間】2020年7月30日(木)、31日(金)

【共催】NPO法人広島アニメーションシティ、広島市映像文化ライブラリー

【場所】広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)

【協力】広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、急遽、上映が中止・変更になる場合があります。

<来館に際してのお願い> 発熱や咳など体調に不安がある方は、ご入館をお控えください。ご入館の際は、マスクを着用してください。マスクを着用されていない場合はご入館をお控えください。広島県外からのお客様は、各都道府県の移動自粛要請にあわせてご来館いただくをお願いします。

<プログラムと作品紹介>

◆7月30日(木)

「ピカドン」、「かつ飛ばせ! ドリーマーズ ~カープ誕生物語~」(2作品・97分)

開映 ①10:30~ ②14:00~ ③18:00~

鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

『ピカドン』

1978(昭和53)年 スタジオロータス 10分 カラー 16mm

演出/木下連三

原爆の悲惨さをアニメーションならではの表現で描き、平和への祈りを短編に凝縮した作品。

『かつ飛ばせ! ドリーマーズ ~カープ誕生物語~』

1994(平成6)年 広島映画センター 87分 カラー 35mm

監督/兼森義則

声の出演/甲田将樹、小山裕香、風見しんご、相原 勇

カープ誕生のエピソードを交えながら、原爆で家や家族を失った少年たちが草野球に打ち込んで、たくましく生きる姿を描く。

◆7月31日(金)

「ヒロシマに一番電車が走った」、「クロがいた夏」(2作品・99分)

開映 ①10:30~ ②14:00~ ③18:00~

鑑賞料/大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円、小・中学生無料

『ヒロシマに一番電車が走った』

1993(平成5)年 NHK広島放送局 32分 カラー DVD

監督/平田敏夫

声の出演/大定純子、吉村美紀、大原穰子、木村知恵美

戦時中の広島、学校に通いながら路面電車の車掌を務める少女たちがいた。その一人、春川弥生は、8月6日の原爆で母や仲間を失いながらも、被爆後はじめて走る一番電車に乗り込んだ....。

『クロがいた夏』

1990(平成2)年 ゲンプロダクション、中国放送 67分 カラー 35mm

監督/白土 武

声の出演/田口悦子、小刀将弘、中島ゆき、矢田耕司

伸子と誠のきょうだいは、カラスにおそわれていた子猫を助け、クロと名づけて育てる。が、8月6日の原爆は、クロの命も奪っていった。子どもたちと子猫のふれあいを通して、原爆の悲惨さを訴えるアニメーション。

◆この世界の片隅にNews!!

2019年12月20日に公開された『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』は、新型コロナウイルスの影響によりいったん126日で公開中断となりましたが、その後、上映が再開され今も続いています。この8月、2016年公開版もNHKで再放送されます。何度でも、どのような形で観づけたい映画です。

●『この世界の片隅に』(2016年公開版)

NHKにて再放送決定!

日時:2020年8月9日(日)15:50~17:56 ※長崎原爆忌の日
<https://www6.nhk.or.jp/anime/topics/detail.html?i=9709>

●『#あちこちのすずさん 教えてください、身近な人のエピソード』NHKにて今年も放送

日時:2020年8月13日(木)22:00~
 募集した戦時中の暮らしのエピソードをシェアすることで
 “戦争の記憶”をつなげていく。
<https://www.nhk.or.jp/special/suzusan/>

●『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』

八丁座にて再上映

日程:2020年8月14日(金)~20日(木) 一週間限定
<https://johakyu.co.jp/>

●『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』

Blu-ray&DVD発売決定!

発売日:2020年9月25日(金)
 Blu-ray特装限定版にはドキュメンタリー映画や
 広島国際映画祭2019等の映像特典付き。
<https://ikutsumono-katasumini.jp/disc/>



写真提供: きしこりんさん

◆Event Information

●情報資料室資料展~この世界の(さらにいくつもの)片隅に 広島のすずさん展

会期:2020年6月1日(月)~10月末(予定)
 会場:広島平和記念資料館(広島市中区中島町1-2)東館 地下1階廊下壁面
 展示概要:『この世界の(さらにいくつもの)片隅に』の広島、特に平和記念公園と
 なった中島地区の場面を中心に、約30点の複製原画に説明資料を加えて紹介。
 料金:無料(この資料展に限り/常設展等も観る場合は料金別途必要)
 休館日:この会期中なし
 問合せ:082-241-4004(総合案内)
http://hpmuseum.jp/modules/exother/index.php?action=PageView&page_id=34

●第2期 収蔵企画展

『この世界の片隅に』全漫画原画+αで見る すずさんが生きた時代、そして呉

会期:2020年9月5日(土)~11月3日(火・祝)(予定)
 会場:呉市立美術館(呉市幸町 入船山公園内)
 料金:一般300円、高校生180円、小中学生120円
 休館日:火曜(火曜が祝日・振替休日の場合は、その翌日)
 問合せ:0823-25-2007
<https://www.kure-bij.jp/?cn=100004>

●誕生80周年 トムとジェリー展 カートゥーンのお天コンビ ハンナ=バーベラ

会期:2020年7月4日(土)~9月6日(日)
 会場:尾道市立美術館(尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内)
 料金:大人1,000円、高大生800円 ※中学生以下無料
 休館日:月曜(ただし8月10日は祝日のため開館)
<https://www.onomichi-museum.jp/>

【延期】藤子不二雄展①の変コレクショナー

会期:2020年7月10日(金)~9月6日(日)⇒ 来夏へ延期
 ※前売券は7月1日~9月10日に払い戻し。来夏の開催時には使用できません。
 会場:広島県立美術館(広島市中区上幟町2-22)
 問合せ:082-221-6246
<https://www.hpam.jp/museum/>

※掲載しているイベントについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、入場時にマスク着用、アルコール消毒等を求められる場合があります。詳しくは各サイトをご覧ください。

広島新銘菓

生もみじ

にしき堂

比治山大学 比治山大学短期大学部

現代文化学部
 言語文化学科 日本語文化コース
 国際コミュニケーションコース
 マスコミュニケーション学科
 社会臨床心理学科
 子ども発達教育学科

健康栄養学部
 管理栄養学科

短期大学部
 総合生活デザイン学科
 幼児教育科
 美術科

80 Hijiya Since 1939

かわらない心。
 かわりゆく
 時代の先へ。

グラフィックデザイン **日本画** **マンガ・キャラクター**

比治山大学短期大学部 美術科

洋画 映像・アニメーション 工芸デザイン

発行日:2020年7月22日 発行部数:6000部 発行:広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
 編集:NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・谷口重徳・松浦妙子・カワサキマミ
 レイアウトデザイン:カワサキマミ
 題字デザイン:岡川卓詩(広島国際学院大学情報デザイン学科)

【紙面についてのお問合せ】
 NPO法人広島アニメーションシティ事務局
 〒730-0011 広島市中区基町21-3 中国放送会館内
<http://hac.or.jp/> Email:hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を
 募集しています